

Sun Java™ System Instant Messaging リリースノート (HP-UX 版)

バージョン 7 2005Q4

Part No. 819-6040

このリリースノートには、Sun Java System Instant Messaging 7 2005Q4 (HP-UX 版) のリリース時点で判明している重要な情報が記載されています。既知の問題点と制限事項、およびその他の情報が説明されています。Instant Messaging 7 をお使いになる前に、このリリースノートをお読みください。

このリリースノートの最新バージョンは、Sun Java System マニュアル Web サイト (<http://docs.sun.com/app/docs/prod/entsys.05q4>) で参照できます。ソフトウェアのインストールおよび設定前、さらにそのあともこの Web サイトを定期的に参照して、最新のリリースノートや製品マニュアルを確認してください。

このリリースノートは、次の節で構成されています。

- [リリースノートの改訂履歴](#)
- [Instant Messaging 7 2005Q4 の概要](#)
- [このリリースで修正されたバグ](#)
- [重要な情報](#)
- [既知の問題点と制限事項](#)
- [再配布可能なファイル](#)
- [問題の報告とフィードバックの方法](#)
- [その他の情報](#)

このリリースノートでは、サードパーティーの URL を参照して、追加の関連情報を提供しています。

注 Sun は、本書に記載されているサードパーティーの Web サイトが利用可能かどうかについて責任を負いません。また、これらの Web サイトまたはリソースで利用可能なコンテンツ、広告、製品、またはその他の資料を保証したり、これらに対して責任を負ったりすることはありません。さらに、これらの Web サイトまたはリソース上で、またはこれらを通して利用可能なコンテンツ、商品、またはサービスにより生じた、またはこれらを使用または信用したことに関連する実際の、または申し立てられた損害や損失に対しても責任を負いません。

リリースノートの改訂履歴

表 1 改訂履歴

日付	変更の説明
2006年2月	商用リリース
2005年11月	ベータリリース

Instant Messaging 7 2005Q4 の概要

Sun Java System Instant Messaging を使用すると、セキュリティーが確保され、機能性の高いメッセージ交換をリアルタイムに行うことができるため、ユーザーのコミュニティーが迅速かつ安全に通信および共同作業を行うことができます。この製品は、メッセージング機能と、会議室、アラート、ニュース、調査、およびファイル転送機能を一体化することで、共同作業を行う優れた環境を提供します。この製品は、LDAP、Sun Java™ System Identity Server、または Sun Java™ System Portal Server で管理された既存のコミュニティーを活用します。

ここでは、次の内容について説明します。

- [このリリースでの新機能](#)
- [ハードウェアおよびソフトウェア要件](#)

このリリースでの新機能

Instant Messaging 7 では、次の内容について説明します。

- [インストール](#)
- [新しい機能](#)

インストール

『Instant Messaging インストールガイド』は廃止されました。はじめて Instant Messaging 7 2005Q4 をインストールする場合は、『Sun Java™ Enterprise System インストールガイド』のインストール手順を参照してください。アップグレードはこのベータリリースではサポートされていません。

Access Manager を Instant Messaging とともに使用する場合は、Java Enterprise System インストーラを使用して「互換 (バージョン 6.x 形式)」Access Manager をインストールする必要があります。このバージョンの Instant Messaging は、「拡張 (バージョン 7.x の形式)」Access Manager と互換性はありません。

以前のリリースの Instant Messaging からアップグレードする場合は、『Sun Java™ Enterprise System のアップグレードおよび移行』の手順を参照してください。

新しい機能

この節では、このリリースで Instant Messaging に追加された次のような新機能について説明します。

ハードウェアおよびソフトウェア要件

この節では、Instant Messaging ソフトウェアのインストール要件について説明します。インストールする前に、最小限のハードウェア要件およびオペレーティングシステム要件を満たしていることを確認してください。サーバーとクライアントの両方で、JRE 1.4 がサポートされています。

Sun Java System Instant Messaging の必須パッチの現在のリストについては、SunSolve Online (<http://sunsolve.sun.com>) にアクセスし、「パッチ」または「パッチポータル」のいずれかを選択してください。Sun Java System Instant Messaging リンクに従います。システムのパッチ要件が変わり、Java Enterprise System コンポーネントに対するパッチが使用可能になると、更新は SunSolve で、最初は推奨パッチクラスタの形式で入手可能になります。

Instant Messaging ソフトウェアのこのリリースに必要なハードウェアとソフトウェアは、次のとおりです。

ここでは、次の内容について説明します。

- [サーバーのオペレーティングシステム要件](#)
- [サーバーのソフトウェア要件](#)
- [サーバーのハードウェア要件](#)
- [クライアントのオペレーティングシステム要件](#)
- [クライアントのソフトウェア要件](#)
- [クライアントのハードウェア要件](#)

サーバーのオペレーティングシステム要件

このリリースの Sun Java System Instant Messaging には、次のプラットフォームが必要です。

HP-UX 11i v1

サーバーのソフトウェア要件

このバージョンの Instant Messaging は、次のバージョンのほかのサーバーソフトウェアと互換性があります。

- Sun Java System Calendar 6 2005Q4
- Sun Java System Directory Server 5 2005Q4
- Sun Java System Access Manager 7 2005Q4
- Sun Java System Messaging Server 6 2005Q4
- Sun Java System Portal Server 6 2005Q4
- Sun Java System Web Server 6.1 Service Pack 5 2005Q4
- Sun Java System Application Server 8.1 2005Q4

サーバーのハードウェア要件

Instant Messaging には、ユーザーごとに約 5K バイトのディスク領域が必要です。256M バイトの RAM が指定されていますが、必要な RAM 容量は、並行して実行されるクライアント接続の数と、サーバーとマルチプレクサが同じホスト上に配備されているかどうかに応じて変化します。

Sun Java System Instant Messaging インストール時の最小限のサーバーのハードウェアおよびソフトウェア要件は、次のとおりです。

表 2 ハードウェアおよびソフトウェア要件

コンポーネント	要件
サポートされるプラットフォーム	HP-UX PA-RISC
オペレーティングシステム	HP-UX11i v1
RAM	256M バイト
ディスク領域	300M バイト

クライアントのオペレーティングシステム要件

このリリースでは、次のクライアントプラットフォームがサポートされます。

- Solaris 8、9、および 10
- Microsoft Windows 98 以降 (ME、NT (SP 6a)、2000、XP)
- Mac OS X 10.1 以降
- Red Hat Linux 7.2 以降

クライアントのソフトウェア要件

Microsoft Windows 上では、次のブラウザの Java Plug-in を使用して Instant Messenger を実行できません。

- Netscape 4.7x、7 以降
- Mozilla 1.2 以降
- Internet Explorer 5.0 以降

クライアントマシンにバージョン 1.4 以上の Java がインストールされている場合、そのままの状態ですべての Java Plug-in および Java Web Start を使用できます。Netscape Navigator v7 および最近のバージョンの Mozilla ブラウザには、バージョン 1.4 以上の Java が含まれていますが、Internet Explorer は含まれていません。

クライアントマシンにバージョン 1.4 以上の Java がインストールされていない場合、Java Web Start をインストールする必要があります。Java v1.4 は、次の場所からダウンロードし、インストールすることができます。

<http://java.sun.com/j2se>

Java Web Start は、次の場所からダウンロードし、インストールすることができます。

<http://www.java.sun.com/products/javawebstart>

HTML リンクは、Instant Messenger を通じてのやりとりが可能であり、またクリックすることで Instant Messenger から起動できます。リンクをクリックすると、Instant Messenger はブラウザを起動します。次の表に、サポートされるオペレーティングシステムとブラウザの組み合わせを示します。

表 3 サポートされるクライアントのオペレーティングシステムとブラウザの組み合わせ

オペレーティングシステム	ブラウザ
Solaris	Netscape Communicator 4.7x 以降
Red Hat Linux 7.x,	Netscape 4.7
Red Hat Linux 8.0 以降	Mozilla 1.2 以降
Windows 98/ME/NT/2000/XP	制限なし
Mac OS X	制限なし

クライアントのハードウェア要件

Instant Messenger は、大半のプラットフォーム上で 20 ～ 40M バイトのメモリーを消費します。メモリー要件を見積もる際には、クライアントマシン上で使用するほかのアプリケーション (オペレーティングシステムを含む) の要件も考慮してください。Instant Messenger およびほかのアプリケーションを快適に使用するためには、ほとんどの場合、128M バイト以上の RAM を搭載することが推奨されています。Windows XP のようなメモリー消費量の多いオペレーティングシステムを使用する場合、より多くのメモリーが必要になります。

Sun Java System Instant Messaging インストール時の最小限のクライアントのハードウェアおよびソフトウェア要件は、次のとおりです。

表 4 ハードウェアおよびソフトウェア要件

コンポーネント	要件
サポートされるプラットフォーム	Windows 98/ME/NT/2000/XP、Solaris (PA-RISC または Intel)
オペレーティングシステム	Solaris 8 および 9、Microsoft Windows 98 以降 (ME、NT (SP 6a)、2000、XP)
RAM	128M バイト
ディスク領域	40M バイト

このリリースで修正されたバグ

次の表で、Instant Messaging7 で修正されたバグについて説明します。

表 5 Instant Messaging 7 2005Q4 で修正されたバグ

バグ No.	説明
6319927	IM サーバーが例外を出し、起動に失敗します。

重要な情報

この節では、次のトピックについて説明します。

- [インストール上の注意](#)
- [互換性の問題](#)
- [Instant Messaging 7 2005Q4 に関するマニュアルの更新](#)
- [障害者のためのアクセシビリティ機能](#)

インストール上の注意

Instant Messaging の設定時に、Sun Java System Identity Server を使用してポリシーを保存するように選択すると、次のポリシーが作成されます。

- Instant Messaging サービスおよび Presence サービスの管理権限
- Instant Messaging の設定変更権限
- Instant Messaging 会議室の管理権限

パッチの要件とインストールについては、次の節を参照してください。

パッチ要件についての情報

次の表は、整合パッチの番号と最低バージョンを記載しています。この節で参照しているパッチはすべて、アップグレードに必要な最低バージョンです。このリリースノートが出版されてから、新しいバージョンのパッチが発行されている可能性もあります。新しいバージョンには、パッチの最後に別のバージョン番号が表記してあります。たとえば、123456-04 は 123456-02 の新しいバージョンですが、同じパッチ ID です。一覧に示されている各パッチに固有の注意事項については、それぞれに付属の README ファイルを参照してください。

パッチを入手するには、<http://sunsolve.sun.com> にアクセスしてください。

表 6 Instant Messaging7 必要な 2005Q4 整合パッチ (HP-UX 版)

パッチ番号	パッチの説明
121514-01	HP-UX 11.11: Sun Java™ System Application Server 8.1 2005Q2
121934-01	HP-UX 11.11: Sun Java™ System Application Server 8.1 2005Q2 (Localization Patch)
121510-01	HP-UX 11.11: Sun Java™ System Web Server 6.1 2005Q4
121935-01	HP-UX 11.11: Sun Java™ System Web Server 6.1 2005Q4 (Localization Patch)

表 6 Instant Messaging7 必要な 2005Q4 整合パッチ (HP-UX 版) (続き)

パッチ番号	パッチの説明
121937-01	HP-UX 11.11: Lockhart Localization patch
121516-01	HP-UX 11.11: Sun Java™ System Instant Messaging7 2005Q4
121892-01	HP-UX 11.11: Sun Java™ System Instant Messaging7 2005Q4 (Localization Patch)

Instant Messaging の JES3 から JES4 へのアップグレード手順の詳細については、<http://docs.sun.com/app/docs/doc/819-4460> にある『Sun Java Enterprise System 2005Q4 Upgrade Guide for HP-UX』を参照してください。

互換性の問題

次の表に、Instant Messaging 7 2005Q4 と旧バージョンとの既知の非互換性の一覧を示します。

表 7 Instant Messaging 7 2005Q4 の互換性の問題

非互換性	影響	コメント
Instant Messaging 7 は、Access Manager の 7.x (2005Q4) バージョンと互換性はありません。	Access Manager をインストールするときは、Java Enterprise System インストーラで、「拡張 (バージョン 7.x の形式)」ではなく、「互換 (バージョン 6.x 形式)」を選択してください。	
Instant Messaging 7 は、Portal Server および Messaging Server の 2004Q2 バージョンと互換性はありません。	Instant Messaging 7 をアップグレードする際に、Portal Server と Messaging Server をアップグレードします。	
プロトコルが変更されたため、Instant Messaging 7 2005Q4 サーバーは、連携配備内の古いバージョンのサーバーと通信できません。	Instant Messaging の連携配備サイトは、すべてのサーバーをアップグレードする必要があります。サーバーのアップグレードをしない既存の配備は、旧バージョンのプロトコルの実装を使用するように、コラボレーションセッションのファクトリオブジェクトのプロパティを明示的に設定する必要があります。	サーバー間の通信不能時間が最小限で済むよう、アップグレードを調整する必要があります。

表 7 Instant Messaging 7 2005Q4 の互換性の問題 (続き)

非互換性	影響	コメント
クライアント - サーバー間の通信	プロトコルが変更されたため、古いバージョンのクライアントは新しいバージョンのサーバーと通信できず、その逆も同様です。	このサイトは、クライアントとサーバーの両方を同時にアップグレードする必要があります。
現在は、旧バージョンの Instant Messaging/Presence プロトコルの Instant Messaging SDK 実装がバンドルされています。	デフォルトでは、Instant Messaging SDK API は XMPP プロトコルベースの実装を使用します。アプリケーションは、旧バージョンのプロトコルの実装を使用するように、コラボレーションセッションのファクトリオブジェクトのプロパティを明示的に設定する必要があります。	
SDK コンポーネントに追加 jar ファイルが含まれるようになりました。	XMPP を利用するためには、Instant Messaging SDK を使用する古いアプリケーションのクラスパスを変更する必要があります。	
Instant Messaging SDK が JSO (JABBER Stream Objects) ライブラリを使用します。		

Instant Messaging 7 2005Q4 に関するマニュアルの更新

次のマニュアルは廃止されました。これらのマニュアルに含まれている情報は、『Sun Java System Communications Services 6 2005Q1 配備計画ガイド』に組み込まれています。

- 『Sun Java System Calendar Server 6 2004Q2 配備計画ガイド』
- 『Sun Java System Instant Messaging 6 2004Q2 配備計画ガイド』
- 『Sun Java System Messaging Server 6 2004Q2 配備計画ガイド』
- 『Sun Java System Communications Services 6 2004Q2 企業向け配備計画ガイド』

また、『Sun Java System Instant Messaging 6 2004Q2 インストールガイド』は廃止されました。以前にこのマニュアルに記載されていた情報は、現在は次のマニュアルに記載されています。

- 『Sun Java Enterprise System 2005Q1 インストールガイド』
- 『Sun Java Enterprise System 2005Q1 アップグレードと移行』
- 『Sun Java System Instant Messaging 7 2005Q1 管理ガイド』

障害者のためのアクセシビリティ機能

このメディアの出版以降にリリースされたアクセシビリティ機能を入手するには、Sun に米国リハビリテーション法 508 条に関する製品評価資料を請求し、その内容を確認して、どのバージョンが、アクセシビリティに対応したソリューションを配備するためにもっとも適しているかを特定してください。更新バージョンのアプリケーションは、

<http://sun.com/software/javaenterprisesystem/get.html> にあります。

アクセシビリティに対する Sun のコミットメントについては、<http://sun.com/access> を参照してください。

オンラインヘルプ

これらの機能についての説明は、製品のオンラインヘルプにもクイックリファレンスにも記載されていません。

絵文字

(バグ : 6182662) 新しい絵文字の一部の説明がオンラインヘルプにない。次の表に、説明がない絵文字とそのキーボードショートカットを示します。

表 8 Instant Messaging 絵文字

名前	ショートカット文字
目覚まし時計	((O))
風船	88=
バースデーケーキ	~[
カレンダー	[#]
厄介	&]
ピエロ	:O)
花	@=
プレゼント	@[
ゴールドスター	(*)
ナイフ	-->>
救助	o=
カミナリ	¥¥¥
乾杯)-
マネー	\$\$
ビアマグ	@]

表 8 Instant Messaging 絵文字 (続き)

名前	ショートカット文字
ミュージック	~~
怪しい	<O~
輝く太陽	=O=
電話	(~)
バイオリン	~ヰ~

また、オンラインヘルプでは、うれしいことを示す絵文字を「スマイリー」、眠いことを示す顔文字を「スリーピング」と、誤って記載しています。

既知の問題点と制限事項

この節では、Instant Messaging 7 2005Q4 (HP-UX 版) の既知の問題および制限事項について説明します。

パッチの更新は、頻繁に行われます。Sun Java System Instant Messaging のインストール中または使用中に問題が発生した場合は、Sun サポートにこの問題に使用可能な修正について問い合わせてください。あるいは、パッチについての Sun Web サイトを確認することもできます。

<http://sunsolve.sun.com>

この節では、次のトピックについて説明します。

ユーティリティーまたは IM の設定

CLI モードで Instant Messaging Configure が動作しない (6233608)

Instant Messaging Configure を CLI モードから起動しようとすると失敗します

回避方法

Configure を GUI モードで実行します。

Instant Messaging L10N depot がインストールされる際に、多くのソフトリンクが作成されない (6369077)

回避方法

Instant Messaging のインストール後、以下で説明するように、ソフトリンクを手動で作成します。

1. /opt/sun/im/html (<IM がインストールされている場所>/im/html) ディレクトリ:

de_DE -> /opt/sun/im/html/de

en_US -> /opt/sun/im/html/en

es_ES -> /opt/sun/im/html/es

fr_FR -> /opt/sun/im/html/fr

ja_JP -> /opt/sun/im/html/ja

ko_KR -> /opt/sun/im/html/ko

zh_CN -> /opt/sun/im/html/zh

2. /opt/sun/im/lib (<IM がインストールされている場所>/im/lib) ディレクトリ:

CfgResources_de_DE.properties ->
/opt/sun/im/lib/CfgResources_de.properties

CfgResources_es_ES.properties ->
/opt/sun/im/lib/CfgResources_es.properties

CfgResources_fr_FR.properties ->
/opt/sun/im/lib/CfgResources_fr.properties

CfgResources_ja_JP.properties ->
/opt/sun/im/lib/CfgResources_ja.properties

CfgResources_ko_KR.properties ->
/opt/sun/im/lib/CfgResources_ko.properties

CfgResources_zh_CN.properties ->
/opt/sun/im/lib/CfgResources_zh.properties

imService_de_DE.properties -> /opt/sun/im/lib/imService_de.properties

imService_es_ES.properties -> /opt/sun/im/lib/imService_es.properties

imService_fr_FR.properties -> /opt/sun/im/lib/imService_fr.properties

imService_ja_JP.properties -> /opt/sun/im/lib/imService_ja.properties

imService_ko_KR.properties -> /opt/sun/im/lib/imService_ko.properties

imService_zh_CN.properties -> /opt/sun/im/lib/imService_zh.properties

Instant Messaging Configurator が任意のヨーロッパ言語の utf8 ロケールでクラッシュする (6370601)

回避方法

Instant Messaging Configurator は、英語以外のロケールで、「無効な文字」のようなメッセージが表示されて起動に失敗することがあります。これは、スクリプトのヘッダー内に不正な文字が存在しているために発生します。

解決するには、以下で示す手順に従います。

1. vi を使用して configure スクリプトを開きます。

```
# vi /opt/sun/im/configure
```

2. 編集および再起動をせずに保存します。

```
:w!
```

```
# /opt/sun/I/configure
```

Instant Messaging を初めて設定すると、IO 例外がスローされる (6376725)

回避方法

次のスクリプトを実行します。

```
<IM インストールディレクトリ >/im/lib/imServiceConfigure
```

または

Instant Messaging Configurator スクリプトを再度実行します。

```
<IM インストールディレクトリ >/im/configure
```

再配布可能なファイル

Sun Java System Instant Messaging 7 2005Q4 には、再配布可能なファイルは含まれていません。

問題の報告とフィードバックの方法

Sun Java System Instant Messaging で問題が発生した場合は、次のいずれかの方法で Sun カスタマサポートにご連絡ください。

- Sun ソフトウェアサポートのサービスオンライン
<http://www.sun.com/products>
このサイトには、保守プログラムやサポート連絡先の電話番号へのリンクに加え、Knowledge Base、オンラインサポートセンター、Product Tracker へのリンクがあります。
- 保守契約に基づいて提供される電話番号。

問題を解決する上で最善のサポートが受けられるようにするため、サポートに連絡するときは次の情報を用意してください。

- 問題が発生した場所および操作に与える影響を含む、問題の説明
- マシンの種類、オペレーティングシステムのバージョン、および製品のバージョン (問題に関係するパッチおよびその他のソフトウェアを含む)
- 問題が発生するまでに使用していた詳細な手順または方法
- エラーログまたはコアダンプ

コメントの送付先

Sun では、マニュアルの品質向上のために、お客様からのコメントや提案をお待ちしています。

コメントをお送りになる場合は、<http://docs.sun.com> にアクセスして「コメントの送信」をクリックしてください。オンラインフォームで、マニュアルのタイトルと Part No. を入力します。Part No. はマニュアルのタイトルページまたは最上部に記載されている 7 桁または 9 桁の番号です。

その他の情報

次の Web サイトには、役立つ Sun Java System 情報があります。

- Instant Messaging のマニュアル
<http://docs.sun.com/app/docs/coll/1309.1>
- Sun Java System マニュアル
<http://docs.sun.com/app/docs/prod/entsys.05q4>
- Sun Java System コンサルティングおよびプロフェッショナルサービス
<http://www.sun.com/service/sunjavasystem/sjsservicessuite.html>
- Sun Java System ソフトウェア製品およびサービス
<http://www.sun.com/software>
- Sun Java System ソフトウェアサポートサービスおよび Knowledge Base
<http://www.sun.com/service/support/software>
- Sun Java System のソフトウェアサポートサービス
<http://www.sun.com/support/>
- Sun Java System 開発者向け情報
<http://developers.sun.com>
- Sun 開発者サポートサービス
<http://developers.sun.com/prodtech/support/>
- Sun ソフトウェアデータシート
<http://www.sun.com/software>

Copyright © 2006 Sun Microsystems, Inc. All rights reserved.

Sun Microsystems, Inc. は、本書で説明されている製品に含まれるテクノロジーに関する知的所有権を保持しています。これらの知的所有権には <http://www.sun.com/patents> に示される 1 つまたは複数の米国の特許、および米国および他の各国における 1 つまたは複数の特許または特許申請が含まれますが、これに限定されません。

SUN PROPRIETARY/CONFIDENTIAL.

U.S. Government Rights - Commercial software. Government users are subject to the Sun Microsystems, Inc. standard license agreement and applicable provisions of the FAR and its supplements.

ご使用はライセンス条項に従ってください。

この配布には、第三者が開発したソフトウェアが含まれている可能性があります。

本製品の一部は、カリフォルニア大学からライセンスされている Berkeley BSD システムに基づいている場合があります。

Sun、Sun Microsystems、Sun ロゴ、Java、および Solaris は、米国およびその他の国における Sun Microsystems, Inc. の商標または登録商標です。すべての SPARC の商標はライセンス規定に従って使用されており、米国および他の各国における SPARC International, Inc. の商標または登録商標です。